

中央非常通信協議会による第31回表彰の概要

1. 令和3年度に発生し大きな被害をもたらした災害の際に通信の復旧や通信手段の確保等に迅速に対応することで、情報通信の観点から災害対応に貢献したと認められる者

受賞者	功績の概要
関東管区警察局静岡県情報通信部	令和3年7月の豪雨災害において、被災現場の状況確認や警察部隊の指揮に必要不可欠な 各種映像伝送等 被災現場における情報伝送のための体制を確立し、 被害状況の確認等災害対応に貢献 。
国土交通省中部地方整備局	令和3年7月の豪雨災害において、 衛星通信車、webカメラ、ドローン等複数の手段を活用し、関係機関や一般住民等に現地映像を提供 する等、情報伝達のための体制を確立し、災害対応に貢献。

2. 非常通信ルートの確保・維持や非常通信訓練における活動、その他これに準じると認められる顕著な活動実績を有する者

受賞者	功績の概要
北海道無線赤十字奉仕団協議会	非常通信訓練 や防災ボランティア関連の 各種研修会を長年にわたり実施 し、団員の技能向上等を通じ、非常時における通信の確保に向けた取組に貢献。
沖縄セルラー電話株式会社	海底ケーブルの敷設 による通信回線の冗長性の確保、災害に強い通信基盤の構築・強靱化等、非常時における通信の確保に向けた取組に貢献。
一般社団法人 周南漁業無線協会	大規模災害を想定した 毎年の情報伝達訓練の実施 、他の 防災関係機関との非常時における通信協力体制の確立 等、非常時における通信の確保に向けた取組に貢献。
平城 正隆（元 国土交通省大臣官房技術調査課電気通信室長）	建設省・国土交通省職員として、通信設備に係る業務に多く従事し、災害対策用の 各種通信システムの整備の推進・災害発生時の対応・指揮 等、非常時における通信の確保に向けた取組に貢献。